

## いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

公募

3/1月～

県内中小企業等の革新的・個性的な取組みにより地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新・中心市街地活性化に向けた取組みなどについて助成金の交付と専門家の派遣等のソフト支援によって総合的に支援します。

### 〈起業・新事業活動支援事業〉

事業  
メニュー

### 〈中心市街地活性化支援事業〉

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発又は事業化、販路開拓、人材養成等～

**【対象者】・創業する者**

- ・中小企業者(法人又は個人事業者)
- ・特定非営利活動法人(NPO)、農事組合法人等(地域資源活用枠のみ)

**①地域資源活用枠**

「地域資源」(農林水産物、鉱工業品又はその生産技術、文化財や温泉等の観光資源など)を活用する事業

**【助成率】1/2**

(大船渡、釜石、宮古、久慈及び二戸振興局管内の者が同地域で取組む事業は2/3)

**【助成限度額】200万円**

**【助成期間】最長3年以内(原則単年度)**

**②起業・経営革新枠**

創業者(創業・起業から3年以内)が取り組む事業又は経営革新計画の承認を受けた事業

**【助成率】1/2 【助成限度額】500万円**

**【助成期間】最長3年以内(原則単年度)**

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発又は企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

**【対象者】・中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者**

- ・小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者(法人又は個人事業者)
- ・商工会、商工会議所、商店街振興組合
- ・知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO法人)

**【助成率】9/10**

(店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)の算式によって算出された額の9/10」)

**【助成限度額】200万円**

**【助成期間】最長3年以内(原則単年度)**

### 支援機関による支援事業

中小企業者が実施する起業・経営革新等を支援する支援機関の取組みを支援

## 平成21年度「いわて起業家大学」 ビジネスプラン発表会の開催について

**今**年度いわて起業家大学が5年ぶりに復活し、現在70名余の受講生が、

熱心に研鑽に励んでいます。その受講生によるビジネスプラン発表会を開催します。

いずれも、それぞれの心のなかの“思い”を福島正伸先生の指導と参加者全員の協力でビジネスプランに具現化したものです。

過去に受講された皆様、関係された皆様、今年都合等で受講できなかった皆様等の参加をお待ちしています。是非、御来場くださり、発表者に対する暖かい支援を御願います。

**日 時** 平成22年3月6日(土)

- ①発表会 午後2時00分から午後5時00分まで
- ②交流会 午後5時15分から午後7時00分まで  
(交流会において修了証書授与式を行います)

**場 所** ホテルメトロポリタン盛岡本館4階(盛岡市盛岡駅前通1-44)

- ①発表会 岩手の間(予定)
- ②交流会 姫神の間(予定)

**ビジネスプラン発表者**

今後の講義の中で決定します。

**講 師**(司会兼コメンテーター)

株式会社アントレプレナーセンター  
代表取締役社長 福島正伸氏

**参加料** 無料(ただし、交流会参加費4,000円予定)

**問い合わせ先** 育成支援グループ 担当/石村  
TEL 019-631-3822 FAX 019-631-3830

# 工連携ファンド 公募します!!

3/29日(月)まで

## いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携（農商工等連携）を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

創業者又は経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者の連携体を支援

#### 対象者

- 県内の中小企業者と農林漁業者の連携体  
⇒ 農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体（農協、森林組合、漁協、連合会も可）
- 中小企業者以外で、県内のNPO法人等と農林漁業者の連携体

注）申請は、中小企業者と農林漁業者の連名で行い、どちらか一方を代表者と定め、センターとの連絡・補助金の受領等を行う

#### 助成対象経費

市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発又は事業化、販路開拓、人材養成等

#### 助成率

1/2以内（県北・沿岸地区は2/3以内）

#### 助成限度額

500万円

#### 助成期間

最長3年以内（原則単年度）

### 支援機関による支援事業

農商工連携による創業・起業又は経営の革新を支援する事業を行う支援機関（支援の実績を有する者に限る）を支援

### 農商工連携の事例

#### エゴマ調味料の事例

##### 中小企業者（調味料メーカー）

大豆・小麦アレルギーが発生しない新たなエゴマ利用調味料の試作や岩手県産の食材と組み合わせたレシピ開発等を進め、販路開拓を図る。

##### 農林漁業者（農業者）

エゴマには、アレルギー治療や動脈硬化などに効果があり、健康食品として注目を集めている。農業や化学肥料を使わない生産を進め、研修会や産地の情報発信を行う。



それぞれが  
工夫を凝らした  
取組み！

新商品開発！

### 農商工連携の基本的要件

【1.有機的連携】 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること

- 「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。
- 「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的かつ有効に用いられていることを指します。

【2.新商品の開発等】 事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産又は需要の開拓が実現すること

- 「新商品若しくは新役務（サービス）」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品又は役務であることが必要である。

## 「結いの市」に感謝状

～チャレンジショップ事業への協力～

1月6日にイオン盛岡南ショッピングセンター内の「いわて活菜横丁・結いの市」が、限られた販路しか持たない中小企業や生産者等が新たな取引市場開拓に挑戦することを支援する「チャレンジショップ」事業に、協力したことに対し、感謝状の贈呈が行われました。

設置者である「遠野ふるさと公社」から出席した菊池孝二常務理事（本田敏秋理事長代理）と、佐々木めぐみ店長に感謝状が贈られました。

この事業は20年度から行われており、約36の個人・団体が利用しています（1月末現在）。本年度事業は2月末まで行われます。

◆チャレンジショップ事業については、  
<http://www.joho-iwate.or.jp/challengeshop>  
をご覧ください。



表彰を受ける菊池孝二常務理事、佐々木めぐみ店長（写真右はいわて産業振興センター専務理事・長段常紀）